

【大会実施要項】

1. 2020年公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
2. 準決勝までは7回ゲーム、決勝は9回ゲームとする。但し2回戦までは1時間30分を越えて新しいイニングには入らない。
3. 準決勝までは7回を終わるか、1時間30分を越えて同点の場合は直ちにタイブレーク（無死一二塁制）を適用し、決勝戦は2回を限度に通常の延長戦を行い、なお、勝負が決しない場合は、12回よりタイブレークにて決着をつける。
4. コールドゲームは準決勝までは5回以降7点差、決勝戦は7回以降7点差とする。
5. 5回を完了して、降雨、日没等で試合が継続できない場合は、コールドゲームとする。5回を未完了の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。
6. 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟 公認球（ダイワマルエスM号球）。

【競技運営に関する注意事項】

1. 組み合わせの若番を一塁側とする。
2. 試合前のシートノックは行わない。
3. 組合せ表にある試合開始時刻はあくまで予定であり、前試合の終わり次第、次の試合を始めるので、1時間前に来場して大会本部で打撃表を受領し、前試合の4回終了時又は1時間経過後に提出し、申込用紙と照合を受けた後、審判員立会いのもと攻守を決定する。
4. 申込用紙に名前があっても打撃表に記載してない選手は、その試合に出場できない。
5. プレイヤーは10名以上参加のこと。守らないチームの取り扱いについては平成8年度の県連評議員総会での決定事項のとおり処理する。但し試合の途中とか1日2試合行うチームの選手が2試合目に家族の入院とか自宅の火災など緊急事態が発生した場合、競技委員長（または代理）の判断で認めることがある。
6. ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督、コーチ、選手のほかチーム責任者（部長）、マネジャー、スコアラー各1名。
7. 試合開始前、球場内でのキャッチボールなど、練習に参加できるのは、ユニフォーム着用者のみ。
8. 着衣、用具については全軟連の規定を厳守すること。違反者は規定によって処分する。
9. 雨天の場合でも試合を強行することがある。グラウンド状態が悪い場合、午後からとか、時間をずらして行うことがあるので、大会本部と連絡を取り合うこと。
10. 会場内(特に学校施設)は、すべて禁煙である。選手はもちろん、応援者にも徹底を図ること。
11. 申込み後は、選手の追加、変更および背番号の変更は認めない。
12. 試合終了後、両チームでグラウンド整備を行うこと。
13. 主催者、主管者は試合中の負傷、疾病に対して応急手当のほかは、一切の責任を負わない。健康保険証またはそれに代わるものを持参しておくこと。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止対応】

(1) 自宅・宿泊先での対応（会場到着前の対応）

参加者は、当日の健康状態等により参加の有無を判断するとともに、検温し球場（会場）へ来ること。

(2) 球場(会場)への入場時の注意事項

大会参加者（応援者含む）は、マスク着用で会場に入ること。

チーム代表者は、会場到着後、速やかに「新型コロナウイルス感染症防止に係る健康チェックシート（別紙）（健康状態、連絡先が記されているもの）を大会参加日ごとに大会本部に提出すること。

※発熱、咳、倦怠感などの風邪症状及び味覚嗅を感じない者の参加を認めない。

(3) 試合における留意事項

① オーダー交換

監督又は主将 1名出席 先攻後攻を決めるじゃんけんの前の握手はしない。

② 試合前・試合後の整列

握手は行わず、大声での挨拶はしない。挨拶終了後は、速やかにベンチに戻る、

③ 試合中のマスク着用

プレー中の選手のマスク着用は、選手自身の判断とする。

監督、選手など、ベンチに居るときはマスク着用を推奨する。

なお、マスク着用時は、各自が熱中症対策に留意すること。

④ その他留意事項

円陣や密集しての声出しなどの機会、肌が触れ合うハイタッチ等はできるだけ控えること。

ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。

手洗い、うがい、マスク未着用時は咳エチケットに留意すること。

球場（会場）内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。

応援席では、観客が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するように各チームで応援者に注意喚起を行うこと。また、大声での応援などもできるだけ控えるようにすること。

⑤ 試合間のインターバル

ベンチを入れ替わる際などは、なるべく他のチームと重ならないよう、各チームで努めること。

(4) 大会参加等について【重要】

○ 今般の新型コロナウイルス感染対策を踏まえた上での、大会の参加については、各々の置かれている立場・状況等が異なることから、監督、選手、チーム関係者、役員、審判員、保護者（選手が未成年の場合）において、それぞれ個人の責任により判断するものとする。